

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座Ⅶ Care Staff Beginner's Training lectureⅦ			ナンバリング No.	I4-010		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	吉田 志保						
連絡方法	C-ラーニングで対応。又は福祉棟3階研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	この授業では、総合生活支援技術の演習と実際のサービス提供現場における実習、実習及び本講座の振り返りを行う。生活支援技術演習では、事例による介護技術の展開を通して基礎的能力の向上を目指す。実習では施設サービス実習と訪問通所サービス実習(訪問介護・通所介護)を行い、それぞれの事業所における介護職員の役割を学ぶ。また、業務を体験することにより 基礎的な生活支援能力の習得を目指す。						
授業の方法	①尊厳を保持しつつ、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮して、その人の在宅・地域等での生活を支えるための基礎的介護技術や知識を習得できる。 ②介護サービス施設、事業所における介護職員の役割や業務の実際及び利用者の生活・家族の様子を観察し、説明できる。						
学習成果	L01						
	L02	実際の施設サービスと訪問通所サービスの現場に触れ、客観的事実や根拠に基づいた記録を記入することができる。					
	L03	実習や振り返りを通し、利用者の個別性にあった介護技術をおこなうことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	実習日誌(記録)については、見本を作成すると共に、学生が記載した記録については、添削をおこないフィードバックをする。						
教科書/参考図書	介護職員初任者研修テキスト/中央法規(介護初任者研修講座Ⅰと同じ)						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。(演習は 45 分) 前期開講の同ユニット科目を履修済であること。 マナーやルール、実習に適した身だしなみ、マナー、態度を順守し、実習に臨むこと。実習では佐野日本大学短期大学の学生の代表として恥ずかしくない行動を意識すること。 やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業・実習への参加状況等により評価を行う。評価基準Sは、授業・実習共に準備をして臨み、常に積極的に参加し自らの意見を述べること。他者からの助言は素直に聴き、行動を改められること。			30	
レポート/作品	実習日誌で評価をする。評価基準Sは、実習日誌を期限厳守で提出できている。毎日の目標が明確であり、誤字・脱字がなく、適切な表現で自分自身の学びや振り返りが理路整然と記載できている。			40	
発表					
小テスト	事例を用いた生活支援技術の実技テストを行う。		30		
試験					
その他					
合計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス①(授業のねらいと進め方、成績評価の方法、諸注意等)
	事前・事後学習	介護実習施設について、どのような施設があるのかを調べる。
2	授業内容	ガイダンス②(実習事前指導)
	事前・事後学習	事例を用い、介護実習記録を記入する。
3	授業内容	こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術演習① 生活支援技術の復習【演習】
	事前・事後学習	事例を提示し、利用者像について、アセスメントをおこなう。
4	授業内容	こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術演習② 生活支援技術の復習【演習】
	事前・事後学習	事例の利用者に必要なケアについて考えまとめる。
5	授業内容	こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術演習③ 技術の試験とまとめ【演習】
	事前・事後学習	介護技術試験について、気を付ける点をまとめる。
6	授業内容	こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術演習④ 技術の試験とまとめ【演習】
	事前・事後学習	介護技術試験について、振り返りをおこなう。
7	授業内容	施設実習(介護老人福祉施設)① 6時間
	事前・事後学習	施設介護実習記録を作成する。
8	授業内容	施設実習(介護老人福祉施設)② ・施設でのオリエンテーションを受け指導者の指導のもと実習をおこなう。・実習日誌を作成し、期限までに提出する。
	事前・事後学習	施設介護実習記録を作成する。
9	授業内容	訪問通所介護実習① 訪問介護サービス提供事業所または通所介護事業所での実習 6時間
	事前・事後学習	訪問介護実習記録を作成する。
10	授業内容	訪問通所介護実習② ・訪問介護サービス提供事業所または通所介護事業所でオリエンテーションを受け指導者の指導のもと実習をおこなう。・実習日誌を作成し、期限までに提出する。
	事前・事後学習	訪問介護実習記録を作成する。
11	授業内容	訪問通所介護実習③ 訪問入浴車による入浴介護の見学 外部講師:(ピジョン真中(株)ご担当者様)
	事前・事後学習	訪問入浴について調べると共に、振り返りをおこなう。
12	授業内容	振り返り① 実習反省会
	事前・事後学習	実習で行った介護技術について、振り返りをおこなう。
13	授業内容	振り返り② 講義・演習・実習を通して学んだことのグループディスカッション
	事前・事後学習	グループディスカッションの振り返りをおこなう。
14	授業内容	振り返り③ グループディスカッションのまとめ、発表
	事前・事後学習	発表の振り返りをまとめる。
15	授業内容	修了試験
	事前・事後学習	修了試験について、振り返りをおこなう。